

土木コンクリート構造物の品質確保における特記仕様書

(レディーミクストコンクリート)

- 1 愛媛県土木工事共通仕様書 第1編 共通編 第3章無筋・鉄筋コンクリート 第3節 レディーミクストコンクリート 1-3-3-2工場の選定において追加するレディーミクストコンクリートは、次表のとおりとする。ただし、構造物、目的物の種類により変更する場合は、監督員の承諾を得なければならない。

種別	粗骨材の最大寸法	スランプ	水セメント比	空気量	呼び強度	摘要
無筋コンクリート	40mm以下	8cm	60%以下	4.5% ±1.5%	18N/mm ² 以上	普通ポルトランドセメント又は高炉セメント(B種)
無筋コンクリート	20or25mm	8cm	60%以下	4.5% ±1.5%	18N/mm ² 以上	普通ポルトランドセメント又は高炉セメント(B種)
鉄筋コンクリート ※1	20or25mm	12cm	55%以下	4.5% ±1.5%	24N/mm ²	普通ポルトランドセメント又は高炉セメント(B種)

※1 鉄筋コンクリート構造物のうち、コンクリート舗装工、場所打ち杭、水中コンクリート及びトンネル覆工を除く

- 2 水セメント比は、一般の環境条件の場合は、鉄筋コンクリートについては**55%以下**、無筋コンクリートについては**60%以下**とすること。
- 3 単位水量の上限値は、土木構造物の場合、粗骨材の最大寸法が20mm～25mmの場合は、**175kg/m³**とし、粗骨材の最大寸法が40mmの場合は、**165kg/m³**とする。

(単位水量測定)

- 4 受注者は、1日当たりコンクリート種別ごとの使用量が100m³以上施工する現場または、重要なコンクリート構造物の施工において、打ち込み直前のレディーミクストコンクリートの単位水量を測定し、受入判定を行い、この測定結果は、監督員に提出すること。

(テストハンマーによる強度推定調査)

- 5 重要なコンクリート構造物の適切な施工を確認するため、コンクリート構造物の施工完了後に、テストハンマーによる材齢28日強度の**強度推定調査**を材齢28日から91日の間に実施し、調査結果を監督員に提出すること。

(原位置のコア採取及び圧縮強度試験)

- 6 テストハンマーによる強度推定調査の結果が、所定の強度が得られない場合については、原位置のコアを採取し、**圧縮強度試験**を実施し、調査結果を監督員に提出すること。

(ひび割れ発生状況調査)

- 7 工事完成後の維持管理にあたっての基礎資料とするため、重要構造物については**ひび割れ発生状況の調査**を実施し、調査結果を監督員に提出すること。

(スペーサー)

- 8 鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを設置するものとする。スペーサーは、構造物の側面については原則 **1 m²につき 2 個以上**、構造物の底面については原則 **1 m²につき 4 個以上**設置すること。

(施工計画書)

- 9 施工計画書のコンクリート打設計画は、打設時の気温・コンクリート温度管理計画、投入高さ、気温に適した打ち込み・打ち重ね時間、型枠・支保工の取り外し時期を明記し、これに基づき打設作業を行わなければならない。

(土木コンクリート構造物の品質管理試験)

- 10 上記項目 4、5、6、7 の品質確認方法は、「**土木コンクリート構造物の品質管理試験**」を松山市のホームページ 技術管理課 各種仕様書等のページからダウンロード又は監督員から入手し、監督員と協議を行い実施するものとする。